

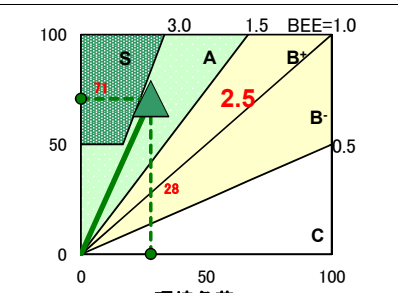


1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)横浜市緑区十日市場21街区計画(戸建)17号棟		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 仮 一部確定
竣工年月	2018年4月				
建設地	緑区十日市場町字家ヶ谷1258-117				
用途地域	第1種中高層住居専用地域				
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2017年9月13日	
階数	2階		作成者	小泉 勝	
敷地面積	156 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2017年11月17日	
建築面積	58 m <sup>2</sup>	確定	確認者		
延床面積	102 m <sup>2</sup>				
世帯人数	4				

### 2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

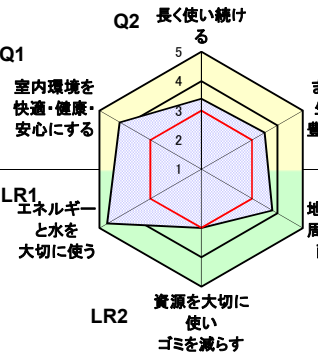
~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆ ~100% ☆☆ 100%起: ☆

戸建標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	43%
③上記+②以外の	43%
④上記+	43%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.8**

#### Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 4.2

暑さ・寒さ	4.5
健康と安全・安心	3.5
明るさ	5.0
静かさ	4.0

#### Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 3.4

長寿命に対する基本性能	3.4
維持管理	3.0
機能性	4.0

#### Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 3.5

まちなみ・景観への配慮	3.0
生物環境の保全と創出	3.6
地域の安全・安心	5.0
地域の資源の活用と住文化の継承	3.0

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.7

総合的な省エネ	4.9
水の節約	4.7
維持管理と運用の工夫	3.5

#### LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.0

省資源、廃棄物抑制	2.8
生産・施工段階に役立つ材料の採用	3.6
リサイクルの促進	3.0

#### LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.8

地球温暖化への配慮	5.0
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	4.0

3 設計上の配慮事項		
総合	4LDKのゆとりのあるプラン、南面に大きな庭を設けることで、住みたい住宅になるようにした。	
その他	特になし	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
南向きに大きな窓を設けて、日当たりをよくすることに主眼を置いた。	床下、小屋裏に換気金物等を設けて建物の構造が長く持つように考慮した。	接道から1.5mの範囲を植栽スペースにすることで、緑豊かな街を演出した。
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する
庭に雨水タンクを設けて、植物の水やりに活用する。	構造躯体は、プレカット材を使用することで、無駄な廃材を出さないように考慮する。	近隣で育成している樹種等を積極的に造園に採用する。



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

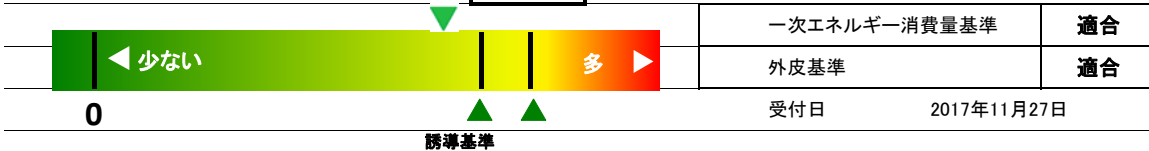
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市緑区十日市場21  
街区計画(戸建)7号棟

**建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving**      重点項目への取組(5点満点)      **【省エネルギー性能】**      **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 20 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①BEI=0.80
- ②暖房便座、省エネガスコンロを標準で採用した。
- ②積極的に節水性能のある器具を採用した。
- ③電気の使用量をモニターで管理できる器具を標準装備とした。

**健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community**      重点項目への取組(5点満点)      **【健康・安心】**      **4**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

LOW-Eペアガラスを採用した。

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤4スターの建材を積極的に採用した。
- ⑤第3種換気で計画した。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無      なし

**防災への配慮 (R) Resilience**      重点項目への取組(5点満点)      **【防 災】**      **4**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑧劣化対策等級における等級2を取得。
- ⑧コロニアルの屋根材を使用し、釘で野地板に固定している。
- ⑨省令準耐火構造の仕様を採用した。
- ⑨道路側に1.5m以上の緑地帯を設け、夜間点灯の照明を設けた。

**地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape**      重点項目への取組(5点満点)      **【地域・まちづくり】**      **3**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑪庭には芝を張り、道路面には中木、高木をふんだんに植えた。
- ⑪大木も積極的に採用した。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・  
蓄熱設備 ・ 雨水等利用設備 ・

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS